




SHOWA

技術とモノづくりで豊かな未来を

第97期 報告書

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日

 昭和鉄工株式会社

Showa Manufacturing Co.,Ltd.

証券コード：5953



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは2019年3月31日をもちまして、第97期を終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに決算の結果につきましてご報告申し上げます。

2019年6月

代表取締役社長 福田俊仁

「本業回帰で筋肉質な企業体」「事業の選択と集中」、「差別化

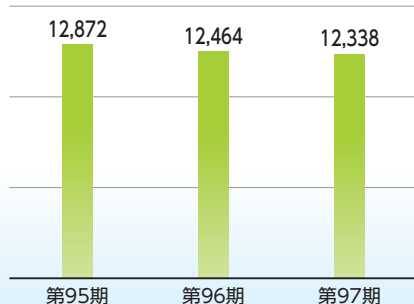
Q 第97期の総括をお願いします。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善、民間設備投資の持ち直し等により、緩やかな回復基調が継続しました。一方で海外においては、米中貿易摩擦による世界経済への影響が懸念されるなど、引き続き先行き不透明な状況で推移しました。

このような情勢の中で当社グループは、中期経営計画「本業回帰で筋肉質な企業体質を実現する！」の4年目の年として、2019年度までに連結売上高120億円以上、安定的に連結売上高営業利益率4%以上を実現するため、重点課題である「事業の選択と集中」、「差別化新製品の開発」及び「固定費の最小化」に取り組んでまいりました。

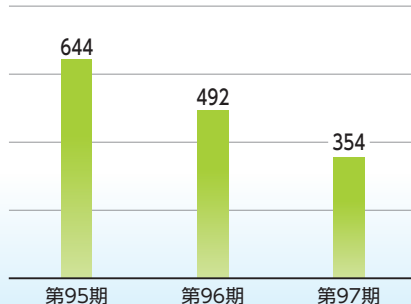
売上高

(単位：百万円)

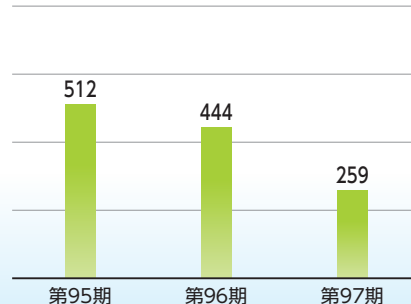


経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)



質を実現する！」を完結すべく、重点課題である 新製品の開発」、「固定費の最小化」に取り組んでまいります。

また、中期経営計画達成のため、効果的な事業戦略を検討する「Project Skye」のもと、4つのタスクフォースを中心に改革を推進しました。

結果、親会社株主に帰属する当期純利益は2億5千9百万円(前連結会計年度比41.5%減)となりました。

Q 第97期の業績についてお聞かせください。

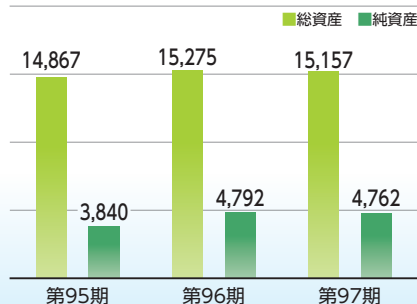
当連結会計年度の当社グループの売上高は123億3千8百万円(前連結会計年度比1.0%減)、受注高につきましては115億4千5百万円(同比8.8%減)となりました。

損益面では、売上高の減少や原材料費の高騰等により、経常利益は3億5千4百万円(前連結会計年度比28.0%減)となりました。

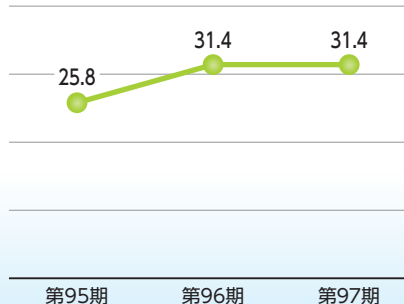
また、特別利益に事業譲渡益5千万円を計上した



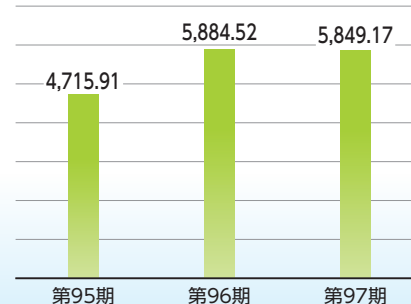
総資産・純資産 (単位: 百万円)



自己資本比率 (単位: %)



1株当たり純資産 (単位: 円)



(注)当社は2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。1株当たり純資産については過年度に遡及して修正した数値を記載しております。

Q 事業セグメント別の業績をお聞かせください。

■ 機器装置事業

機器装置事業につきましては、熱源機器は業務用エコキュート、鋼板製ボイラーが低調に推移し、売上が減少しました。空調機器は直暖機器が低調に推移しましたが、エアハンドリングユニットが堅調に推移し、売上が増加しました。環境機器は循環温浴器が低調に推移し、売上が減少しました。また、サーモデバイス機器は熱処理炉の出荷が一部次年度へ延期したことが影響し、売上が減少しました。

その結果、当事業の売上高は76億2千3百万円(前連結会計年度比2.9%減)、受注高は67億7千5百万円(同比17.1%減)となりました。

■ 素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、景観製品は標準高欄が低調に推移し、売上が減少しました。铸造品は精密铸造品及び特殊铸造品が堅調に推移し、売上が増加しました。

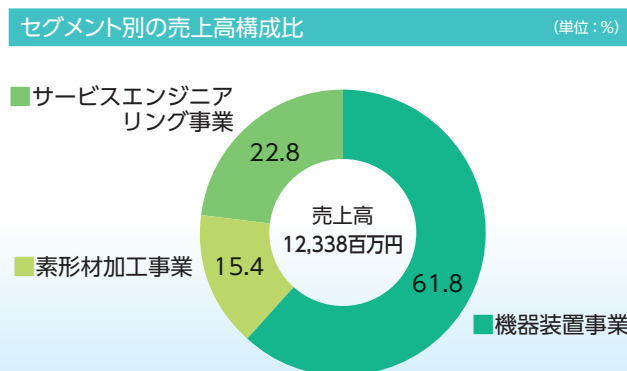
その結果、当事業の売上高は18億9千4百万円(前連結会計年度比4.5%増)、受注高は19億4千6百万円(同比6.3%増)となりました。

■ サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、取替工事及び保守契約がほぼ前年度並みに推移しました。

その結果、当事業の売上高は28億2千万円(前連結会計年度比0.7%増)、受注高は28億2千3百万円(同比6.3%増)となりました。

セグメント別の売上高・受注高		(単位：百万円)	
	売上高	受注高	
■ 機器装置事業	7,623	6,775	
■ 素形材加工事業	1,894	1,946	
■ サービスエンジニアリング事業	2,820	2,823	
合計	12,338	11,545	



Q 今後の見通しをお聞かせください。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は雇用・所得環境の改善や堅調な設備投資等に支えられ回復基調の持続が期待される一方で、原材料高騰の影響や世界情勢の急激な変化により景気が下振れするリスクもあり、依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

Q 今年度の取り組みをお聞かせください。

2019年度は、本年度を最終年度とする中期経営計画「本業回帰で筋肉質な企業体質を実現する！」を完結すべく、連結売上高120億円以上、安定的に連結売上高営業利益率4%以上を目指し、引き続き重点課題である「事業の選択と集中」、「差別化新製品の開発」及び「固定費の最小化」に取り組んでまいります。

上記の重点課題の解決と目標達成のため、前年度まで効果的な事業戦略を検討する「Project Skye」に取り組んでまいりましたが、今後は、営業・サービスの顧客接点力強化、ヒートポンプ製品の開発と事業化、昭和生産システムの再構築、エアハンドリングユニットとファンコイルユニットの生産省力化の4つの改革を軌道に乗せるべく注力するとともに、2019年4月1日付で連結子会社である昭和ネオス株式会社を吸収合併したことにより新たな付加価値を生み出してまいります。

Q 株主還元の方針についてお聞かせください。

当社は、株主の皆様への安定的な配当の継続を最重要課題と位置づけており、加えて企業業績のほか、今後予想される競争激化に耐えうるための経営効率化、新製品開発に備えるための内部留保の充実を勘案し、配当を行うことを基本方針としております。

第97期の期末配当につきましては、当期の業績、今後の経営環境の見通し等を勘案したうえで、1株につき50円とさせていただきます。

Q 最後に株主様にメッセージをお願いします。

内部統制システムを含めたコーポレートガバナンスを一層強化するとともに、これからも『誠実を造り、誠実を売り、誠実をサービスする』の社是のもと、全力をつくして業績の向上と安定した収益基盤の確立に邁進していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ラデックが平成30年度省エネ大賞 最高賞の「経済産業大臣賞」を受賞しました！

「ラデック」は、換気によって屋内に入ってくる外気の温湿度を処理する外気処理機です。オフィスビルやテナントビル等のエアコンの湿度負荷を低減し、空調システム全体の省エネ化を図ります。夏季は蒸し暑さを解消し、冬季は加湿運転により、一年を通じて快適な環境を提供しています。

近年加速する省エネ化に加え、災害や猛暑による電力事情の悪化の影響で節電が求められる中、「リタンエア除湿方式」という新発想が実現した優れた省エネ性能と数々の実績が高く評価されました。

ENERGY CONSERVATION GRAND PRIZE

平成30年度
省エネ大賞
(製品・ビジネスモデル部門)
主催：財団法人省エネルギーセンター
経済産業大臣賞

ヒートポンプ式 **リタンエア**
デシカント外気処理機
ラデック HCDRシリーズ

夏季冷房時
COP 5~6
快適ドライ28℃除湿

冬季暖房時
COP 6~7
健康無給水加湿



2019年1月30日、東京ビッグサイトで開催された表彰式において、経済産業大臣政務官の滝波参議院議員から当社福田社長へ授与されました。

【省エネ大賞】

省エネ大賞は、事業者や事業場等において実施した他者の模範となる優れた省エネ取り組みや、省エネルギー性に優れた製品並びにビジネスモデルを表彰することにより、わが国全体の省エネ意識の拡大、省エネ製品の普及などによる省エネ型社会の構築に寄与することを目的としている。省エネルギーセンターが主催し、毎年、様々な企業等が技術力をかけて厳しい審査に臨んでいる。

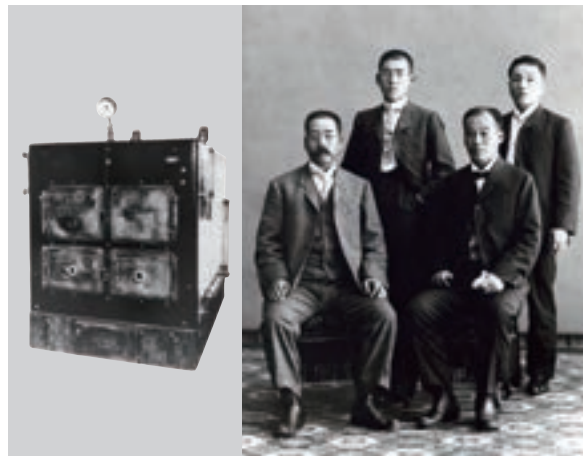
豊郷小学校のアサヒボイラーが 「建築設備技術遺産」に認定されました！

国の登録有形文化財である豊郷小学校の地下室に保存されている当社の「アサヒボイラー」。長年の浸水によって一部朽ちかけている箇所もありますが、鑄鉄製の堂々たる姿は今なお健在です。昭和初頭に発売されると、高い性能で瞬く間に輸入品を駆逐し、その後長らく業界に君臨した温水ボイラーの傑作機です。

このたび、戦時中の金属供出を逃れ奇跡的に残っていた「アサヒボイラー」が建築設備技術者協会の建築設備技術遺産に認定されました。建築設備技術の進歩・発展において重要な成果を示したものが認定されることで、当社の長年に渡る事業活動への評価が高まり、今後企業ブランドの向上にも大きく寄与します。



地下室に残る自動給炭器付きアサヒボイラー5型。1936年10月製造の銘板が貼付されています。



国産ボイラーの普及は創業者斎藤一（前列右）の長年の悲願でした。



一般社団法人 建築設備技術者協会 主催

建築設備技術遺産

認定第32号 鑄鉄製ボイラー（自動給炭器付き）

【豊郷小学校旧校舎群（滋賀県犬上郡豊郷町）】

1937年、当校出身で当時「丸紅商店」の専務であった古川鉄治郎氏が私財を投げ打ち、ヴォーリズ建築事務所的设计により建設・寄贈した。当時としては珍しい鉄筋コンクリート造の壮麗な校舎は、「白亜の教育殿堂」や「東洋一の小学校」の異名を取った。また、暖房設備など時代の最先端の技術を惜しみなく使用し、その総工費は当時60万円（現在の貨幣価値で十数億円に相当）に上る。現在は、町立図書館や子育て支援センターなど町の複合施設として利用されており、校舎の見学も自由に行える。2013年には国の登録有形文化財に登録されている。



連結貸借対照表

科目	当期 2019年3月31日現在	前期 2018年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	9,080	8,939
現金及び預金	2,979	3,184
受取手形及び売掛金	3,681	3,645
電子記録債権	403	363
有価証券	—	200
商品及び製品	210	218
仕掛品	1,397	960
原材料及び貯蔵品	328	308
その他	84	62
貸倒引当金	△4	△3
固定資産	6,076	6,336
有形固定資産	2,607	2,471
建物及び構築物	737	728
機械装置及び運搬具	255	208
土地	1,411	1,411
その他	203	123
無形固定資産	100	71
投資その他の資産	3,369	3,793
投資有価証券	2,915	3,238
繰延税金資産	12	18
その他	601	700
貸倒引当金	△160	△164
① 資産合計	15,157	15,275

① 総資産

前期末に比べ1億1千8百万円減少し、151億5千7百万円となりました。主な要因は、たな卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品)4億4千9百万円が増加した一方で、現金及び預金2億5百万円、有価証券2億円、投資有価証券3億2千3百万円が減少したものです。

② 負債

前期末に比べ8千9百万円減少し、103億9千4百万円となりました。主な要因は、借入金2億3千7百万円が減少したものです。

③ 純資産

前期末に比べ2千9百万円減少し、47億6千2百万円となりました。主な要因は、利益剰余金1億9千4百万円が増加した一方で、その他有価証券評価差額金2億3千9百万円が減少したものです。

科目	当期 2019年3月31日現在	前期 2018年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	7,196	7,478
支払手形及び買掛金	2,812	2,597
短期借入金	3,175	3,725
未払費用	486	483
未払法人税等	64	105
設備関係支払手形	93	7
その他	565	558
固定負債	3,197	3,005
長期借入金	637	325
退職給付に係る負債	2,022	2,059
繰延税金負債	190	250
その他	346	369
② 負債合計	10,394	10,483
(純資産の部)		
株主資本	4,320	4,126
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,225	1,225
利益剰余金	1,602	1,407
自己株式	△148	△148
その他の包括利益累計額	441	665
その他有価証券評価差額金	769	1,009
為替換算調整勘定	57	86
退職給付に係る調整累計額	△385	△429
③ 純資産合計	4,762	4,792
負債及び純資産合計	15,157	15,275

連結損益計算書

科目	当期	前期
	自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日	自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日
4 売上高	12,338	12,464
売上原価	9,468	9,490
売上総利益	2,870	2,973
販売費及び一般管理費	2,520	2,525
5 営業利益	349	447
営業外収益	146	177
営業外費用	140	132
5 経常利益	354	492
特別利益	50	187
特別損失	—	208
税金等調整前当期純利益	404	471
法人税、住民税及び事業税	119	160
法人税等調整額	25	△133
当期純利益	259	444
5 親会社株主に帰属する当期純利益	259	444

4 売上高

2019年度までに連結売上高120億円以上、安定的に連結売上高営業利益率4%以上を実現するため、重点課題に取り組むとともに、効果的な事業戦略を検討する「Project Skye」のもと、4つのタスクフォースを中心に改革を推進しました。その結果、当期における当社グループの売上高は123億3千8百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

5 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

売上高の減少や原材料費の高騰等により、営業利益は3億4千9百万円（前年同期比22.0%減）、経常利益は3億5千4百万円（前年同期比28.0%減）となりました。また、特別利益に事業譲渡益5千万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は2億5千9百万円（前年同期比41.5%減）となりました。

6 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は1億3千4百万円（前年同期は4千8百万円の獲得）となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益4億4百万円、減価償却費1億7千4百万円及び仕入債務の増加額2億1千4百万円による増加と、たな卸資産の増加額4億4千9百万円及び法人税等の支払額1億5千3百万円による減少です。

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期	前期
	自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日	自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日
6 営業活動によるキャッシュ・フロー	134	48
投資活動によるキャッシュ・フロー	38	△50
財務活動によるキャッシュ・フロー	△322	△360
現金及び現金同等物の増減額	△149	△362
現金及び現金同等物の期首残高	3,050	3,413
現金及び現金同等物の期末残高	2,901	3,050

会社概要

商号	昭和鉄工株式会社 Showa Manufacturing Co.,Ltd.
本社所在地	福岡県糟屋郡宇美町大字宇美3351番地8
創業	1883年10月2日
設立	1933年4月30日
資本金	16億4,100万円
従業員数	326名(連結383名)
主な事業内容	ファンコイルユニット・エアハンドリングユニット等の空調機器、業務用エコキュート・ボイラー・ヒーター・バーナー・オユシス等の熱源機器、循環温浴器・空気清浄機等の環境機器、液晶パネル製造用熱処理炉等のサーモデバイス機器、橋梁用防護柵等の景観製品、鋳造品等の製造販売のほか、空調機器、熱源機器等の一部販売・メンテナンス・取替工事及び給排水衛生設備等の設計・監理・施工の請負

主な事業所

東京支社	東京都大田区蒲田五丁目44番5号
工場	宇美工場(福岡県糟屋郡)、古賀工場(福岡県古賀市)、札幌工場(石狩市)
営業所	札幌(石狩市)、仙台、北関東(さいたま市)、名古屋、大阪、広島、下関、九州(福岡県糟屋郡)、南九州(熊本市)、鹿児島
関係会社	昭和ネオス株式会社、昭和トータルサービス株式会社、大連氷山空調設備有限公司

(注)当社は、2019年4月1日付で、九州営業所を九州支社とし、東京支社内に東京支店を新設いたしました。また、当社は、2019年4月1日付で連結子会社である昭和ネオス株式会社を吸収合併いたしました。

役員

(2019年6月26日現在)

取締役・監査役

代表取締役	福田 俊仁
取締役	鍋山 敏郎
取締役	倉岡 淳
取締役	日野 宏昭
取締役	村瀬 廣記
取締役	松尾 利浩
監査役(常勤)	山根 讓治
監査役	吉田 泰彦
監査役	村上 英之

執行役員

社長CEO	福田 俊仁
常務執行役員	鍋山 敏郎
常務執行役員	倉岡 淳
上級執行役員	日野 宏昭
上級執行役員	鈴木 善廣
上級執行役員	井上 敏
執行役員	平田 清
執行役員	尾島 孝則

株式の状況

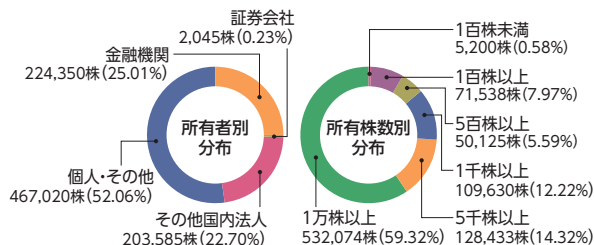
発行可能株式総数	2,400,000株
発行済株式の総数	897,000株
株主数	826名

大株主

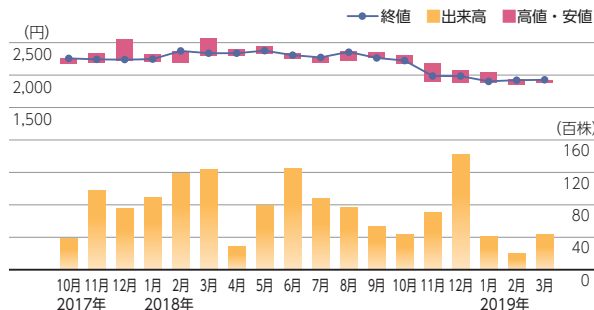
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社福岡銀行	38,650	4.74
株式会社西日本シティ銀行	38,500	4.72
株式会社北九州銀行	35,750	4.39
西部瓦斯株式会社	34,500	4.23
西日本鉄道株式会社	29,100	3.57
飯田卓子	27,111	3.32
飯田久泰	26,700	3.27
林久江	21,505	2.64
飯田吉宣	19,850	2.43
稲田好美	19,813	2.43

(注)持株比率は、自己株式(82,751株)を控除して計算しております。

株式分布状況



株価の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の基準日 毎年3月31日 剰余金の配当の基準日 毎年3月31日 中間配当の基準日 毎年9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (お問合せ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告によります。 http://www.showa.co.jp/koukoku/index.html ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数	100株

株主様へのご案内

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払い配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

ホームページのご案内

<http://www.showa.co.jp/>

●トップ画面



当社ホームページでは、IR情報をはじめ豊富なインフォメーションを掲載しています。どうぞご利用ください。

●IR情報トップ画面



 昭和鉄工株式会社

〒811-2101 福岡県糟屋郡宇美町大字宇美3351番地8
TEL 092-933-6390 (代表)

UD
FONT



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用し、環境に優しい植物油インキで印刷しています。